資料1

令和８年度

第１回　健康づくり推進協議会



令和８年度　健診ポスターコンクール
優秀作品

令和8年9月17日

「もしも」と「いつも」に安心を。
協会けんぽ　全国健康保険協会　愛知支部

目　次

１．事業概要について

２．令和７年度第２回健康づくり推進協議会資料の修正について

３．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

令和８年度第１回　健康づくり推進協議会について

　前回の令和７年度第２回健康づくり推進協議会では、新たな取り組みとして、協会けんぽが保有する性別や年齢階級別、業態・業種別、地域別等の健診データをもとに、多角的な視点で愛知支部の特徴を分析したいとの考えから、いくつか集計データをご覧いただき、委員の皆様にご意見を頂戴しました。

　その中で、他都道府県支部との比較が必要とのご意見がございましたので、近隣支部である「静岡支部・岐阜支部・三重支部」のデータを参照し、各支部との比較を行いました。詳細につきましては、前回資料の修正と併せて、次ページ以降でご紹介いたします。

1．事業概要について

（1）テーマ・取り組み内容

テーマ

生活習慣病予防健診受診者の各種データを探ることで、愛知支部における傾向や課題を把握する。

概要

協会けんぽで保有している生活習慣病予防健診を受診された方の各種データに基づく愛知支部の傾向や課題を把握するため、複数年度分のデータを結合し、個人単位での経年変化を把握する。

今回は、他支部との比較を行うため、2022年度から2025年度まで継続して生活習慣病予防健診を受診された方の健診データを抽出・結合し、愛知支部の傾向を探る。

生活習慣病予防健診とは・・生活習慣病の発症や重症化の予防を目的とした血液検査や尿検査、がん検診等、被保険者（ご本人）に受けていただく健診

使用するデータ

①**健診受診者リスト**（2022年度から2025年度データ）

※生活習慣病予防健診での検査項目（参考資料１P）

②**質問票リスト**（2022年度から2025年度データ）

※健診受診時の問診内容（参考資料２P)

③**事業所情報リスト**（業態情報、事業所規模、等）

④**加入者リスト**（住所地、資格取得日、資格喪失日　等）

- 協会けんぽに加入の被保険者を抽出
- ③④については、項目が多数のため、必要な項目のみを抽出

２．令和７年度第２回健康づくり推進協議会資料の修正について

（1）分析例②の修正

ご意見

「分析例②」の業態別に健診受診月を集計した表について、見づらくなっているので、例えば折れ線グラフにしてみてはどうか。

すべての業態を表示することは難しいので、全体の傾向や特徴のある業態に絞って表示すれば見やすいかと思う。

回答

いただいたご意見をもとに、健診受診月別生活習慣病予防健診の受診者数を折れ線グラフで表示しました。（参考資料４P～５P）

全受診者のグラフに加えて、対象者が多く受診月に特徴がある「機械器具製造業」「総合工事業」「医療業・保健衛生」のグラフを作成しました。2022年度から2024年度の３年分を見るとほとんど重なり、毎年同じ時期に受診されています。また、業態により受診される月に違いがあり、それぞれ特徴があることがわかります。

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

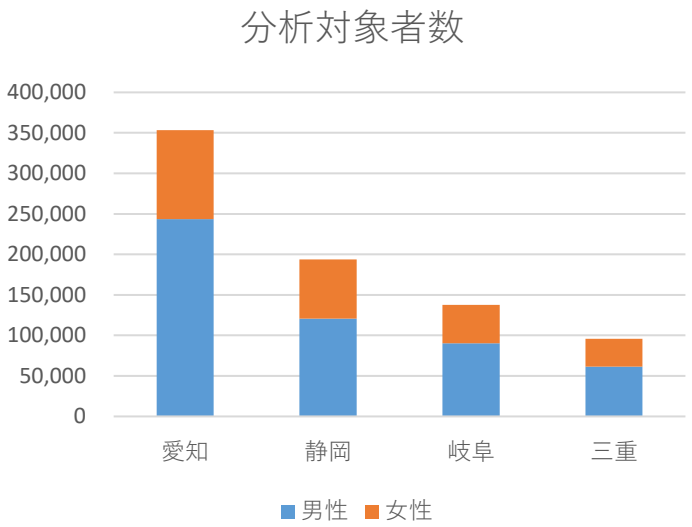
（1）分析手法について

他支部との比較について

各支部の健診受診者リストから2022年度から2025年度まで継続して生活習慣病予防健診を受診された方を抽出します。

【分析対象者数】

	男性	女性	合計
愛知	243,659	109,885	353,544
静岡	120,713	72,997	193,710
岐阜	90,232	47,306	137,538
三重	61,544	34,191	95,735
	男性	女性	合計
愛知	68.9%	31.1%	100.0%
静岡	62.3%	37.7%	100.0%
岐阜	65.6%	34.4%	100.0%
三重	64.3%	35.7%	100.0%



（参考）【健診対象被保険者数】2025年度末時点

	男性	女性	合計
愛知	739,456	442,354	1,181,810
静岡	296,780	209,464	506,244
岐阜	215,648	143,130	358,778
三重	141,474	99,439	240,913

【健診対象被保険者に対する分析対象者割合】

	男性	女性	合計
愛知	33.0%	24.8%	29.9%
静岡	40.7%	34.8%	38.3%
岐阜	41.8%	33.1%	38.3%
三重	43.5%	34.4%	39.7%

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（1）分析手法について

基礎分析について

各支部の年齢構成や事業所規模、業態別に割合を算出し、支部ごとの特徴を確認

（参考資料６P～８P）

・年齢構成では愛知支部は若い年齢の割合が高い

・岐阜支部の事業所規模2,001人の割合が多いのは、１か所大規模な事業所があり、生活習慣病予防健診の受診率も高いため。同じく、業態別で見た場合も同様の理由により、道路貨物運送業が高い結果となっている

・業態別では、愛知支部は「機械器具製造業」「卸売業」「社会保険・社会福祉・介護事業」の順に割合が高い。静岡支部は「社会保険・社会福祉・介護事業」、岐阜支部では「道路貨物運送業」三重支部では「機械器具製造業」がそれぞれ割合が高い

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（2）分析例について

分析①について

・愛知県は名古屋飯に代表されるように、揚げ物や味噌・タレを多用する味の濃い食べ物が多いとされているが、血圧や脂質への影響について、それぞれリスク保有率を確認する。

仮説：血圧・脂質リスクおよびコレステロール値や血圧、中性脂肪の数値が悪いのではないか

（確認項目）参考資料９P～20P

血圧・脂質リスク保有率、血圧値、LDLコレステロール値、空腹時中性脂肪値

・血圧リスクは男性は支部間の差はなく、女性は岐阜支部が高め

・脂質リスクは男女ともに静岡支部と三重支部が若干高め

・血圧は収縮期、拡張期ともに岐阜支部が高め

・LDLはあまり差がないが、愛知支部が若干高め

・中性脂肪は静岡支部と岐阜支部が低めで愛知支部と三重支部が高め

● それぞれの項目を確認しても愛知支部が特段数値が高いということはなく、名古屋飯等による血圧や脂質への影響はないと考えられる。

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（2）分析例について

分析②について

・愛知県は自家用車保有台数が長年全国１位であり、通勤・通学に自動車を利用する人の割合も高いので、運動習慣の有無について確認する。ただし、名古屋市と名古屋市以外で傾向が違うのではないかと考え、愛知を名古屋市と名古屋市以外に分けて確認する。

仮説：自動車を利用する人が多く、日常的に運動する人が少ないのではないか？

（確認項目）参考資料21P～22P

日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日１時間以上実施【質問票】

・比べてみると愛知支部は割合が高く、特に名古屋市が高くなっている。

・男性では岐阜支部が低く、女性は三重支部が低い

● 名古屋市内は地下鉄等が整備されており、車での通勤より電車を利用する方が多いと考えられる。また、岐阜支部、三重支部は通勤に車を利用する方が多く、運動習慣がない方の割合が高くなっているのではないかと考えられる。

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（2）分析例について

分析③について

・愛知支部は健診受診後、要治療・要精密検査と判定された人が「速やかに医療機関を受診をする者」の割合が低いという結果が出ているが、生活習慣を改善するつもりもしくは取り組み済と回答した人の割合は低いのか。

仮説１：医療機関を受診せず自力で改善しようと取り組む人が多い

仮説２：要治療・要精密検査の判定が出ても気にせずに改善に取り組まない人が多い

（確認事項）参考資料23P～26P

運動や食生活等の生活習慣を改善しようと思いますか【質問票】

・「改善するつもりはない」と回答した人の割合は男女ともに静岡支部が低く、岐阜支部が高い

・すでに改善に取り組んでいる人の割合（回答３～５）も静岡支部が高く、健康意識が高い傾向がみられた

・男女で比べると女性のほうが改善に取り組む割合が高い

● 愛知支部に目立った傾向はなく、この質問では医療機関を受診する割合が低い原因は把握できなかった。

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（3）その他

その他比較結果

【腹囲リスク保有率】参考資料27P～28P

・メタボ対策のために重要な腹囲リスクについて比較したところ、愛知支部は４県のなかでは高い結果となった。

・男女ともに岐阜支部の数値が低く、次いで静岡支部が低くなっている。

【間食・甘い飲み物摂取】参考資料29P～30P

・質問票の間食・甘い飲み物について、男性では愛知支部が比較的割合が高く、全体的に静岡支部と三重支部の割合が低い。

特に静岡支部の女性は他県と比べて大幅に低い結果となった。

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（3）その他

その他比較結果

【睡眠で休息が取れている】参考資料31P～32P

・協会が作成しているスコアリングレポートで愛知支部が下位に位置づけられていた「睡眠で休息が取れている者の割合」は静岡支部が高めであった。

・静岡支部以外の３県はほとんど差がなく、愛知支部が特段低いということはなかった。

【飲酒割合】参考資料33P～34P

・毎日飲酒する者の割合は男性ではそこまで差はなかったが、女性では愛知支部の割合が高い

・どの支部も飲酒率は年々減少しつつある。（参考に２０２２年度の数値を掲載）

※２０２４年度に質問票の回答が３段階から８段階に変更されたので、その影響が出ている可能性がある。

（変更前）

①毎日　②時々

③ほとんど飲まない（飲めない）

➡

（変更後）

①毎日　②週５～６日　③週３～４日

④週１～２日　⑤月に１～３日　⑥月に１日未満

⑦やめた　⑧飲まない（飲めない）

3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（4）分析結果と今後の取り組みについて

【考察】

令和７年度第１回までの健康づくり推進協議会では、年度単位での健診結果データを全国平均と比較し、愛知支部の健康課題を模索してきましたが、特徴的な項目は見受けられませんでした。

そこで、継続して生活習慣病予防健診を受診されている方に限定し、東海地方４支部について分析①～③を行ったところですが、健康状態（健診数値）への影響（相関性）は見受けられませんでした。

【今後の取り組み】

今回の分析では愛知支部の健康課題は確認されなかったものの、血圧や脂質などは生活習慣の影響を受けやすい指標であるため、引き続き加入者の健康づくりサイクルの定着を推進してまいります。

また、「要治療・要精密検査と判定された方の医療機関への受診」に関しては、健診実施機関における健診当日の受診勧奨の推進や事業所を通じたポピュレーションアプローチを実施し、健診後早期の医療機関受診につながる取り組みを実施してまいります。

併せて、今回の分析では受診率が低い原因が把握できなかったため、医療供給体制の比較等の更なる深掘りが必要と考えています。



3．生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

（4）分析結果と今後の取り組みについて

ご意見をいただきたい内容について

【今回の結果を受けて】

検査項目をいくつか抜粋し比較いたしましたが、特に気になる項目はございますでしょうか。

また、この先分析を進めるにあたり、ポピュレーションアプローチについてターゲットを選定するうえで、どのような比較対象もしくは方法での分析や視点が効果的であると考えられますでしょうか。